

## Reader's VIEW

## 2020 Vol.3 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部へ寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*本誌のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) でご覧いただけます。

●特集の「要点整理 小学校」を読み、小学校での英語学習の必要性がよく分かりました。特に、上智大学短期大学部の狩野晶子教授の「子どもは教えた通りに習得するわけではなく、教えたことをすべては取り込めず、アウトプットできるのはその一部」という指摘には納得です。語学力はスパイラルに伸びるからこそ、言語教育は長い目で、緻密に取り組まなければならないと改めて思いました。(北海道)

●特集の「要点整理 中学校」で、関西大学の田尻悟郎教授が指摘した「生徒の心を引きつけるのは、コンテンツの中身です」に共感しました。確かに、生徒が真剣に参加している授業では、教科書本文の一つひとつの内容がいかにも興味深いかを生徒が実感できるくらい、教員が教材研究をしていることが伝わります。教科書に書いてあることをそのまま教えるだけでは生徒の興味を喚起できず、原点は教材研究にあることを再認識できました。(東京都)

●「指導計画、指導案、学習評価をセットで提示し、授業の質向上と、目標・評価の一体化を図る」という、特集の岐阜県岐阜市教育委員会の取り組みが印象に残りました。見通しを持たなければ、児童生徒に確かな学力をつけることはできません。その点、同市の取り組みでは、出口が明確になっていることが素晴らしいと感じました。(岐阜県)

●特集の東京都国分寺市立第一中学校の事例は、「最初にアウトプットの目標を提示し、意欲を引き出す」という見出しに興味を持って、記事を読み進めました。「使える英語」が今、いかに大切であるかが明確にされており、大変勉強になりました。(岩手県)

●連載「Leader's VIEW」の神奈川県川崎市教育委員会の取り組みと、連載「フロントランナーに聞く 教育の next」の大阪府大阪市立大空小学校の取り組みは、SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」を前提にした教育であ

る点が共通していると感じました。川崎市教育委員会の小田嶋満教育長の考え方にも、大いに共感しました。(滋賀県)

●連載「フロントランナーに聞く 教育の next」で示されていた、学力の保障ではなく「学習権を保障する」という考えに、目からうろこが落ちる思いがしました。自分の指導を振り返ると、学力をいかに高めるかにこだわっていたように思います。そして、これから目指す方向について自問自答する時、自身の姿を見せることのできる「学びのプロ」であることが必要だと考えました。(宮城県)

●連載「新課程 GOOD プラクティス」の新潟市立鳥屋野中学校によるポートフォリオを活用した事例では、教員と生徒の協働による体制構築の可能性を感じました。そうした体制下であれば、生徒に自ら考え、行動する自己責任能力を育むことができます。校則の見直しなどについても、主体的に考えられる生徒になれると思いました。(千葉県)

●連載「データで教育を読む」が印象に残りました。先が見えない不安からか、努力しても意味がないと考える子どもが増えてきています。機会あるごとに小さな努力を認める必要性を改めて感じました。中学校以前の学校段階から子どもの努力を認めていくこと、教員自身も子どもの尊敬に値するような言動を積み重ねていくことで、努力を信じる心が育まれていくのだと思います。(東京都)

●連載「教育施策で導く わがまちの未来」の愛媛県宇和島市の取り組みには、我が意を得たりという心持ちです。本市でも以前からふるさと学習に力を入れていますが、子どもたちのふるさとへの理解が深まらず、郷土愛を醸成できていないことに危機感を持っています。ふるさととは、まさに自己のアイデンティティであり、人生の土台となる存在です。一刻も早く、ふるさと学習に、より真剣に取り組むべきだと感じています。(新潟県)

## 編集後記

『VIEW next』への名称変更とともに、高校領域から小・中学校領域の担当に変更となりました。今回、取材で訪れた彦根市立佐和山小学校では、先生方の仲がよく、お話の仕方も柔らかい印象を持ちました。同校では、子どもが主体的に活動し、成長実感があるためか、先生方の子どもを見守る姿勢が優しく、雰囲気も和気あいあいとしていました。見習いたい職場の手本だと感じました。(広瀬)

## VIEWnext 教育委員会版 2021 Vol.1

2021年5月31日発行/通巻24号

発行人	山河健二	お問い合わせ先
編集人	春名啓紀	フリーダイヤル
発行所	(株)ベネッセコーポレーション 学校カンパニー VIEW next 編集部	0120-350455
印刷製本	研精堂印刷(株)	〒700-8686
編集協力	(有)ペンダコ	岡山市北区南方3-7-17
執筆協力	中丸 満、二宮良太	
撮影協力	荒川 潤、ヤマグチイッキ	

©Benesse Corporation 2021

※ Vol.2の発行は、8月上旬を予定しています。